

～ ほどがや学び隊 まち歩き会 ～

■ ほどがや学び隊・・・って??

ほどがや学び隊について

きっかけは平成26年秋に開催された区の講座「保土ヶ谷の魅力再発見!ほどがや学び隊」。

保土ヶ谷の...
 魅力を探したり...
 顔をみて撮影
 他い...
 海抜1.5m
 防災を学んだり...
 野菜を収穫したり...
 最終回には
 区長から修了証を授与されました。

受講者の仲が良かったこと、今後の講座運営の手伝いを区が募集していたことから、「今後も保土ヶ谷を学び、発信していこう!」とOB会を結成しました。

それが
“ほどがや学び隊!”

こんな活動をしています。

月1回の
まち歩き

自然
 歴史
 建造物
 その他、文化や地区・地形などをテーマに。

食
 地元のことを知るのって楽しい♪
 おいしいものも食べたい♪
 楽しみながら地元の魅力を発見しています。

秋開催の講座で集まった「魅力発見カード」を区のホームページ「ほどがや学び隊」がみつけた魅力スポットに掲載。

時に熱い意見を交わしながら...

また、講座では一緒に学びながらスタッフとして講座をサポート。

受付
 安全確認
 調理
 保土ヶ谷産の野菜の具だくさんスープ

作:たかえみちこ takaemichiko.com

■ 今回のトピックス・・・は??

われ等が“ふるさとほどがやの魅力を探る”第18弾!は・・・
 幼かった子どもの頃、よく火事があった。横浜の街は今の様に明るくなく、灯のなかった時代。暗闇の中に火の粉を巻きあげ、真っ赤に燃える炎。サイレンの音を聞くと今でも不安な気持ちにさせる火事。人口約370万人の横浜の街を24時間守る消防署に訪れ、横浜の消防を学ぶ、“まち歩き”・・・です。

■ 次回のトピックス・・・は??

われ等が“ふるさとほどがやの魅力を探る”第19弾!は・・・
 今の東京が江戸と呼ばれていた時代、東京の街からゴミは出なかった(いわゆるゼロ・エミッション)。バランスよくすべてが循環し、環境汚染もなく生活していた。文明の進んだ現在、私たちは・・・。
 ゴミのリサイクルを知り、私たちの生活を見直す“まち歩き”・・・です。



ほどがや学び隊 まち歩き会 ～横浜の消防を学ぶ～

■ルート： 集合場所：保土ヶ谷区役所1階ロビー ① 横浜市消防局消防司令センター(4階見学室(司令室内部を見学))→ 保土ヶ谷消防署1階車両待機スペース→ 2階会議室 → 現地解散

■開催日： 2016年6月21日

■参加者： 16名

■所要時間： 1時間45分

① 市消防局消防司令センター

相鉄線「星川駅」の周辺は、かつて富士紡績があった所。跡地再開発に伴ない区政の中心として、「保土ヶ谷区総合庁舎」が1968年(S43)完成。建物は区役所の隣。消防局署員3500人、消防車 約600台で横浜市を守る。



①-1 同(見学室)

司令室の大画面は70インチ15台分の大きさ。市内18消防署全ての火災救急情報が共有され、計75名態勢・24時間対応。見学室にもその指令(合成音声)が入る。



①-2 同(車両待機スペース)

ふと見ると、傍らにヘルメットと消火服、ブーツが脱ぎ捨てられている?! で、尋ねると、即装着可能のように置かれている、とのこと。なるほど確かに!



①-3 同(会議室)

1階で救援活動の説明を受けた後、2階会議室に移動。街に点在する消火栓に繋ぐ“スタンドパイプ式消火器具”の取扱い方説明を受ける。住む町の何処に消火栓があるか、まず、知らないと活かせない…。

①-1 同(司令室)

入口で説明を受け司令室の見える見学室へ。約16m×10m、二層吹抜けの大空間(2層司令室は他に千葉市だけ)。正面には大画面! それに向かい前後2列の監視席配置。



①-2 同(車両待機スペース)

1階の車両待機スペースに移動し、消火・救援活動の説明を受ける。消防車側面の扉を開くと、中には消火機材等が満載。消火ホース筒先は、私達も持てる重さ。



①-2 同(車両待機スペース)

その実際を、デモンストレーション! 装着完了まで約2分。さすがプロ! 平日頃の訓練が、いざという時に役立つ大切さ。車両待機スペースの壁面は、すぐに取り出せるように多くの消火機材。これも重要!

①-4 同(活動中の消防車)

市消防司令センターの消防車SR(スーパーランジャー)2台をはじめ、横浜消防の逞しいSR消防車。



▼ 見学室からの司令室



保土ヶ谷消防署を訪ねて…

広い横浜地域の、真ん中に位置する保土ヶ谷区には、市消防司令センターが置かれ、隣に保土ヶ谷消防署が在ります。おかげさまで、両方を見学できました。119番通報を受信する司令管制員と、消火・救急に的確に対処する消防隊員の方々が、命を守るという任務を真剣に遂行するようすを見て、信頼と安心がより確かなものになりました。

ほどがや学び隊 野中記